

1 単元名 南アメリカ州～ブラジルにみる環境問題（帝国書院 中学生の地理 p 96～97）

2 単元について

本小単元は、豊かな自然が広がる南アメリカ州の特色を、急速に進んでいる開発とそれに伴う環境問題に着目させるものである。モノカルチャー経済からの脱却と経済発展のため、開発を進めていくが、それにより地域の環境や人々の生活に大きな影響を与え始めている。本小単元では、開発と環境保全を持続発展的に両立させていくことの大切さと消費者である私たちが、環境に配慮した生活を実践するためにどうすべきかについて考えることをねらいとしている。

3 本時の学習

(1) 目標

- ・経済発展をめざすブラジルでは、アマゾンの熱帯林が開発され、熱帯林の減少が続いていることを理解させる。
- ・経済発展をめざしながら、開発と環境のバランスをどのようにとっていけばよいかについて考えさせる。

(2) 消費者教育の視点～ブラジルの開発とそれにとともなう環境へのさまざまな影響を考え、環境に配慮した生活を送るにはどのようなことを実践していけばよいかを考えることができる。【②持続可能な消費を実践する力】

(3) 展開

	学習活動	指導上の留意点	備考
導 入	1 熱帯林の急激な減少を確認する。	・岩手県の面積と比べ減少の大きさに気付く。	ICT 利用 グラフ
展 開	アマゾンをはじめとするブラジルの開発は、周りの環境や人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。		
	2 ブラジルでなぜ熱帯林の破壊が起きているのかを考える。	・教科書本文から原因を探すよう促す。 ・資料を提示し、伐採が起こる理由を推測させる。 ・鉱工業がさかんな地域、大規模農場、大きな道路沿いで森林破壊が激しいことを確認させる。	教科書 ワークシ ート
	3 伐採の影響と保全の取り組みを確認する。	・開発が地域の環境や人々の生活に悪影響を及ぼしていることを確認させる。	
	4 バイオ燃料の普及やユーカリの植林とそれにとともなう問題を確認する。	・バイオ燃料が環境に配慮したエネルギーでありながら、環境への悪影響を及ぼしていることを確認させる。 ・ユーカリの植林が、環境に悪影響を及ぼしながらも、地域の人々の収入源となっていることにも気づかせる。	
	5 開発と環境の保全をどのようにバランスをとっていきべきなのかを考える。 （個人→グループ）	・ 開発と環境保全の持続発展的な両立について多面的・多角的に考察し、自分の考えをまとめさせる。	ホワイト ボード
	6 グループ毎に発表しあい、考えを共有する。	・グループ毎にまとめたボードを発表しあい、考えの共有化を図る。（共有化）	
終 結	7 本時のまとめと振り返り	・ワークシートに本時のまとめを記入する	ワークシ ート

ここがポイント